

療育研修会

東京 支部

今回の療育研修会は東京支部の総会の特別講演として企画されました。

講演 「最近の筋ジストロフィー研究について」

・石原先生は平成23年3月まで国立療養所箱根病院院長として勤められていました。

4月から日本筋ジストロフィー協会の専属医として、東京支部の訪問診療を行っています。

石原先生は40年間筋ジス専門医として、診療と研究に携わっていた、日本でもトップ

クラスの研究者です。特に、世界中の筋ジス研究の状況をデータベースにまとめ、

研究者に配信して筋ジス研究の進歩に貢献して頂いています。

今回は最新の日本及び世界の筋ジス研究の現状を分かりやすく紹介して頂きました。

参加者からは筋ジスについての疑問点を先生に質問し説明を受けていました。

講演：「筋ジストロフィーの遺伝子登録システムについて」

・日本筋ジストロフィー協会の貝谷理事長より、筋ジストロフィーの遺伝子治療の

登録システムについて説明された。

デュシャンヌ型の遺伝子の登録が、国立精神・神経研究医療センターの筋ジストロフィー

患者の登録センターREMUDY (Registry of Muscular Dystrophy) でデュシャンヌ型と

ベッカー型の登録が行われています。現在、登録数は800を超えました。

一方、日本筋ジストロフィー協会では福山型の登録の準備をしております。

療育研修会実施状況

東京支部 参加数 13

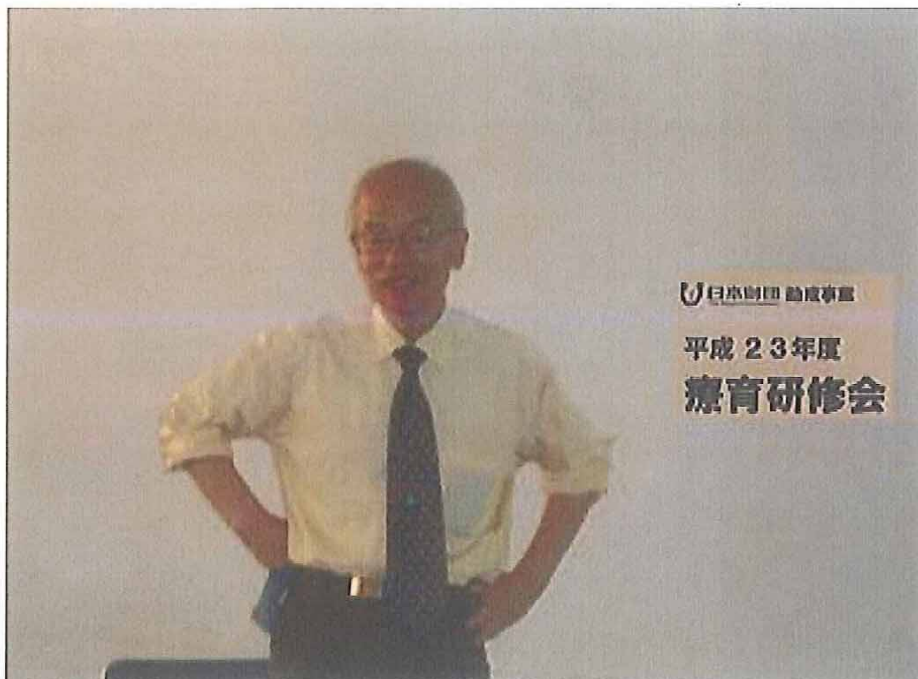
テーマ：◆最近の筋ジストロフィーの研究について

講師： 医師 石原 傳幸

実施場所： 全国療育センター4F 会議室

◆筋ジストロフィーの遺伝子登録システムについて

医師 貝谷 久宣



筋ジストロフィーの研究は日々進歩していて、患者としても内容を理解するのは

大変です。新聞でも、記事でも医学用語がたくさんあり難しい。

今回、この研修会に参加して、石原先生が分かりやすく説明して下さりとても

良かった。他の参加者も熱心に質問していました。又このような機会があれば

是非参加したいと思いました。

療育研修会実施状況

東京支部 参加数 13

テーマ：◆最近の筋ジストロフィーの研究について

講師： 医師 石原 傳幸

実施場所： 全国療育センター4F 会議室

◆筋ジストロフィーの遺伝子登録システムについて

医師 貝谷 久宣



実施を終えて（感想等）
参加者の感想等、必ず記入して下さい。

・参加者からは筋ジストロフィーの治験の現状や、治療薬の開発について質問があった。

また、在宅での生活上の問題点についても質問や、自分の経験したことを話をして

お互いの情報交換を行った。

療育研修会実施状況

東京支部 参加数 13

テーマ：◆最近の筋ジストロフィーの研究について

講師： 医師 石原 傳幸

実施場所： 全国療育センター4F 会議室

◆筋ジストロフィーの遺伝子登録システムについて

医師 貝谷 久宣



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

・国立精神・神経医療研究センターで、遺伝子の治療の治験がはじまったと説明が

ありました。ただ、タイプによって時期も異なるとの事でした。

早く筋ジストロフィーのすべてのタイプの治療法が開発、確立されるのが

患者の願いです。今回の説明は、その一步を踏み出したという印象でした。
